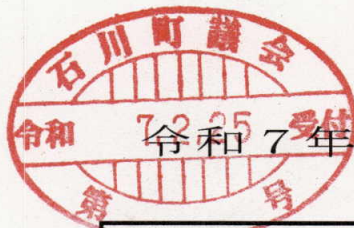


一般質問通告一覧表

(令和7年3月定例会)

通 告 番 号	氏 名	一般質問登壇日 及び予定時刻
通告1番	乾初美	3月10日(月) 10:00~11:00
通告2番	菊池美知男	3月10日(月) 11:00~12:00
通告3番	星恵子	3月10日(月) 13:00~14:00
通告4番	根本重泰	3月10日(月) 14:00~15:00
通告5番	迎茂城	3月10日(月) 15:00~16:00
通告6番	鈴木義延	3月11日(火) 10:00~11:00
通告7番	瀬谷寿一	3月11日(火) 11:00~12:00
通告8番	増子美知夫	3月11日(火) 13:00~14:00
通告9番	小木芳郎	3月11日(火) 14:00~15:00



令和7年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 1 番

令和7年2月25日 午前10時30分 受付

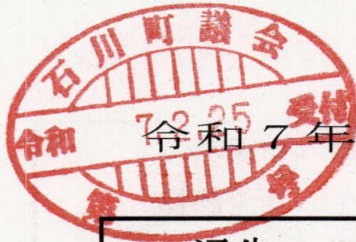
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和7年2月25日

質問者 13 番議員 乾 初美

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 短期入所生活援助（ショートステイ）事業について	保健福祉課の次年度新規事業として、「短期入所生活援助（ショートステイ）」がある。保護者の疾病等で、子どもを療育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設等で最大7日間療育・保護を行う事業であるが、次の点について伺う。 (1) 本町における「短期入所生活援助（ショートステイ）」事業の概要について	町長 教育長 所管課長
2. 一般社団法人 地域商社SAKURAIZE（サクライズ）へのサポート体制について	一般社団法人 地域商社SAKURAIZE（サクライズ）（以下、SAKURAIZE）が誕生してまもなく1年になる。町では一般財源を導入し、観光物産振興事業の委託、各種イベント支援を行うなどSAKURAIZEが自走できるようサポート体制を強化している。 そこで、次のことを伺う。 (1) 町のサポート期限とSAKURAIZEの自走見込みについて (2) 専門人材の確保と人材育成について (3) 今後の観光施策の方針となる観光基本計画の策定について	町長 所管課長
3. 結婚支援事業について	町は、広域連携により石川コンなどの婚活事業や、結婚サポーターによる未婚者への結婚勧奨やマッチングを行っているが、課題もある。 そこで、次のことを伺う。 (1) 結婚支援事業の現状と課題について (2) 「第3期石川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」アンケート結果について (3) 今後の方針について	町長 所管課長



令和7年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 2 番

令和7年2月25日 午前10時50分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和7年2月25日

質問者 7 番議員 菊池 美知男

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 新年度予算及び重点事業について	少子高齢化や人口減少が進む厳しい状況の中、「共に創る幸せ実現のまち」を目指し、限られた財源の中で、持続可能なまちづくりが進められるよう、令和7年度初予算編成が行われたものとする。 そこで、次の点について伺う。 (1) 行政運営及び予算執行の更なる効率化と、町税や特定財源の確保について (2) 町民ニーズの反映方法と特色ある事業について	町長 所管課長
2. 高齢者福祉の充実について	高齢者が住み慣れた地域で自立した生活続けることは、誰しもが望むところであり、そのためには、孤立を防ぎ、社会参加を通じて健康増進することが重要である。 特に、その際の移動手段の確保は必須であるとする。 そこで、次の点について伺う。 (1) 高齢者福祉、健康増進等を目的とした、外出支援のための町有マイクロバスの使用について (2) 民間バス、タクシー事業者との連携について	町長 所管課長

3. 交通安全対策について	高齢運転者による自動車交通事故の増加や、公共交通環境の減少など、生活交通環境の大きな変化の中、高齢運転者に対する支援や新たな交通システムの構築とともに、交通教育及び交通安全施設の整備が重要な課題であるとして、第6次総合計画の基本目標に掲げられている。 そこで、次の点について伺う。 (1) 飲酒運転撲滅と、その一端を担うタクシー、代行運転事業者の現状について (2) 自動車への、踏み間違い防止機器や安全装置取り付けに関する町の対応について (3) 高齢者や通勤、通学における歩行者の安全に対する啓発や、関係機関・団体との協力関係や事業の推進について	町長 所管課長
----------------------	--	--------------------



令和7年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 3 番

令和7年2月25日 午前11時22分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和7年2月25日

質問者 3 番議員 星 恵子

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 子どもを取り巻く諸課題および対策について	本年4月には、認定こども園が開園し、野木沢小学校の閉校に伴い小学校は1校となる。さらに、一直線に文教施設が並ぶことになり、安心安全でより充実した幼児保育および教育活動が展開されることが期待される。 そこで、次の点について伺う。 (1) 小中学校への学校司書の配置について (2) 小学校統合に伴う加配教員の配置について (3) 認定こども園への支援員の配置について (4) 新年度の放課後児童クラブの申込者数について (5) 下校後の交通安全および防犯対策について	教育長 所管課長
2. 本町の空き家の状況および対策について	団塊の世代が75歳を迎え、本町の高齢化率は昨年40%となった。高齢者の単身世帯も増加しているほか、子どもの居住地に転出したり、介護施設に入所したりするなどして、空き家になるケースも出てきている。昨年4月には相続登記が義務化され、町内の空き家調査も行われた。新たな「空き家等対策計画」の策定、適切な維持管理や有効活用に向けた具体的な支援や対策が求められる。 そこで、次の点について伺う。 (1) 空き家調査の結果および空き家数の推移について (2) 後期高齢者の単身世帯数について (3) 空き家対策事業の具体的内容について (4) 空き家アドバイザー協議会との連携について	町長 所管課長

3. 本町の戦後80年に向けた取り組みについて	今年(2023年)は戦後80年である。本町は戦後50年の平成7年に「核兵器廃絶、不戦、恒久平和の町」を宣言しており、合併70年にあたって、それを受け継いでいくことが重要だと考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 宣言に対する町長の考えについて (2) 町政への宣言の反映について	町長
--------------------------------	---	-----------



令和 7 年第 2 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 4 番

令和 7 年 2 月 25 日 午前 11 時 50 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和 7 年 2 月 25 日

質問者 8 番議員 根本 重泰

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 石川町水道事業について	石川町では浄水場の大規模改修が行われているが、人間が生きていくうえで欠かすことのできない生活インフラである水道事業について、全国各地で設備や施設の老朽化等に伴う、適切な維持管理が問われている。 石川町水道事業経営戦略は令和3年に改訂されたところであるが、戦略に掲げた事業は計画どおりに進行しているのか、また、見直すべき点はないのだろうか。 そこで、次の点について伺う。 (1) 浄水場改修事業の進捗状況について (2) 水道水の水質改善について (3) 石綿セメント管、老朽管の更新について (4) 令和3年に加えられた給水区域への水道管布設について	町長 水道事業所長
2. 自治センターについて	地域の拠点、地域づくりの拠点として石川町の各自治センターがスタートし、16年が経過しようとしている。 コロナ感染症、地域団体構成員の高齢化など、社会情勢の変化が激しい中、センターの存在意義が問われているところである。 そこで、次の点について伺う。 (1) 指定管理者制度の導入について (2) 石川町が自治センターに望む役割と事業について	町長 所管課長



令和7年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 5 番

令和7年2月25日 午後1時43分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和7年2月25日

質問者 1 番議員 迎 茂城

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 道の駅整備事業について	本町においては、人口減少等に伴う地域産業の衰退、また、地域経済の停滞は大きな課題である。 これら課題解決のため、観光資源の活用や地元産品のブランド化、企業誘致など、地域経済を循環させるための取り組みは非常に重要であり、特に、道の駅整備事業については、地域産業の活性化、観光客の誘致などに寄与することが期待されるところである。 しかし、本事業には多額の費用を要することから、事業を推進するためには、多くの住民が抱える不安の解消に努める必要があると考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 事業費増額の理由について (2) 事業費の財源と本町の負担額について (3) ハード面、ソフト面における今後の進め方及びスケジュールについて	町長 所管課長
2. 通学路の安全確保について	徒歩や自転車により通学・帰宅する児童、生徒の安全を担保するためには、防犯灯などの適切な設置は欠かせないものとする。 しかし、防犯灯については各自治会の管理となっているため、高齢化や戸数の減少に伴い管理費の負担が大きくなっており、さらには、街路灯と防犯灯が重複する箇所や、逆に不足する箇所が見受けられるなど、課題は多いと考えており、中・長期的な視点に立っての総点検、そして、再構築を図っていく必要があるのではないだろうか。 そこで、次の点について伺う。 (1) 防犯灯設置や管理に係る自治会からの相談状況について (2) 安全な通学路の確保・維持のための、防犯灯の今後のあり方について	町長 所管課長



令和7年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 6 番		令和7年2月25日 午後2時13分 受付
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。 令和7年2月25日 質問者 5 番議員 鈴木 義延 石川町議会議長 近内 雅洋 殿		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 運動部活動の地域移行に向けた取り組み状況について	生徒にとって望ましく持続可能な運動部活動と学校の働き方改革の両立を実現するため、「運動部活動の地域移行」が求められている。 地域移行を進めるためには、受け皿となる運営団体や地域人材などの確保が必要であり、それには、スポーツ団体や指導者等との連携や協力体制の構築を早急に進める必要があると考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 本町における推進協議会の立ち上げ時期について (2) 推進協議会の組織体制、委員構成について (3) 地域移行を進める上での課題について	教育長 所管課長
2. 消防団の組織改革と退職報償金の処遇改善について	近年、災害が激甚化、頻発化し、各地で甚大な被害が発生する中、政府は内閣府内に「防災庁」の設置を検討するなど、防災の重要性は一層増している。 また、地域防災力の維持・向上を図るためには、消防団の充実強化は必須であると考えが、団員の減少や高齢化など課題は多く、地域の安全安心を構築するためにも、課題解決に向けた取り組みが求められている。 そこで、次の点について伺う。 (1) 機能別消防団員導入の考えについて (2) 消防団員の退職報償金の処遇改善について	町長 所管課長

3. 墓地公園整備方針の明確化について	本町では、平成30年度に墓地用地として土地を取得してから7年が経過したが、近年、墓地を取り巻く社会状況は大きく変化しており、少子化や未婚率の上昇による墓守の減少など、お墓に対する町民のニーズは急激に変化していることが考えられる。 こうしたことから、墓地公園の整備については、慎重かつ早期に、今後の方針を示す必要があると考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 墓地公園整備に至る経緯について (2) 本町における墓地の現状と課題について (3) 現状等を踏まえた今後の方針について	町長 所管課長
----------------------------	---	--------------------



令和 7 年第 2 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 7 番

令和 7 年 2 月 2 5 日 午後 2 時 5 0 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和 7 年 2 月 2 5 日

質問者 9 番議員 瀬谷 寿一

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 町長公約に関連する課題について	町長は、政治信条として論語から「近き者悦び、遠き者来る」やダイバーシティ(多様性)を掲げている。江戸時代の藩政改革で名高い米沢藩主上杉鷹山も同じような政策を行っており、領民が豊かになってこそ国が強くなるという「富国安民」の政策で、子ども手当、地域振興、結婚支援、名産品開発を行なって人口回復、藩勢回復を行った。 そこで、次の点について伺う。 観光物産の振興と町内企業の振興 (1) 令和 6 年度の町内企業等の新規雇用状況について (2) 道の駅の来年 7 月開業に向けてのスケジュールと町民が参画できる取り組みについて 子ども達へのより良い環境の提供 (3) レークサイドセンターの運営状況と今後の課題について (4) 石川中学校部活動の地域移行の取り組み、今後の課題について (5) 小学校、中学校、高校において地域探求活動が多く取り組まれているが、こうした取り組みに対し町民も積極的に参画・支援できる仕組みの構築について	町長 教育長 所管課長

脱炭素の推進

- (6) 本町の第6次総合計画「脱炭素・循環型社会の形成」において森林再生の推進が強調されており、町土の6割を占める森林管理は緊急課題であるため、森林伐採や植林事業等の具体的な支援策について

石川地方町村との連携

- (7) 令和7年度に石川地方町村で取り組む管内連携事業について



令和7年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 8 番

令和7年2月25日 午後3時12分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和7年2月25日

質問者 11 番議員 増子 美知夫

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 高齢者の運転免許証返納後の支援策構築について	高齢を理由に運転免許証を返納した場合、その後の日常生活について心配する声は非常に多い。さらに、高齢者にとって車の運転ができなくなることは「生活範囲の狭小化」に直結し、それに起因して要介護状態になる割合が増加するという調査結果もあり、決して看過できない。 こうした中、全国各地で「日本版ライドシェア」の取り組みが進められているほか、県内では、地域住民の互助活動による「おでかけサポート」が有効に機能するなど、さまざまな対策が進められている。 そこで、次の点について伺う。 (1) 本町における高齢者の運転免許証返納状況について (2) 運転免許証返納に伴う課題の把握について (3) 日本版ライドシェア、おでかけサポートなど、本町の実情に合った支援策の構築について	町長 所管課長
2. 高齢者の安全運転支援策について	高齢者のブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故は後を絶たず、昨年2月には、近隣町村で痛ましい事故が発生している。 踏み間違いによる事故の要因はさまざま考えられるものの、自動車の安全機能強化を図ることは、事故を未然に防ぐ有効な手段の一つになり得るだろうし、実際に県内自治体においても、自動車の急発進抑制装置取り付けに対する補助を実施している例がある。 そこで、次の点について伺う。 (1) 高齢者の踏み間違い事故の要因について (2) 自動車の急発進抑制装置の有効性について (3) 急発進抑制装置取り付けへの支援について	町長 所管課長



令和7年第2回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 9 番

令和7年2月25日 午後3時40分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和7年2月25日

質問者 10 番議員 小木 芳郎

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 農業振興について	農業を取り巻く環境は近年大きく変化し、農地の集約や法人化による営農規模の拡大など、以前に比べ厳しく難しくなっている。 農業は本町の基幹産業でもあり、今こそ持続可能な農業の未来について考え、取り組みを進める必要があると考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 令和7年度営農の見通しについて (2) 農業人口減少対策と大規模化や法人化への支援について (3) スマート農業への支援について (4) 地域計画に対する取り組みについて	町長 所管課長
2. 消防団組織の課題と新たな取り組みの導入について	地域防災の要となる住民防災組織の消防団は近年、団員の高齢化や団員数の減少が全国的な課題となっており、これ以上先送りせず、課題解決に向けた取り組みを進める必要があると考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 団員数の減少による分団の再編や集約化について (2) 自治センターと地域防災の関わりについて (3) 機能別消防団員について (4) 消防団協力事業所表示制度等について (5) 学生消防団活動認証制度について	町長 所管課長